

高齢者施設における 災害対策について ～能登半島地震の事例を踏まえて～

健康長寿推進課 渡邊

令和6年能登半島地震の概要

2024年1月1日午後4時10分、能登地方で発生した最大震度7の地震は、奥能登を中心に甚大かつ広範囲な被害を及ぼしました。

データで知る 能登半島地震

The Earthquake in Data

負傷者 重傷394人
軽傷876人
People Injured

1,270人

住家被害 全壊・半壊・一部破損・
床上浸水・床下浸水
Homes Damaged

116,282棟

携帯支障 最大
Mobile Phone Coverage

70~80%

M7.6
Magnitude 7.6

最大震度7
Max. Intensity at Surface:
JMA Scale 7 (Highest Level)

死者 うち
災害
関連死
377人
People Dead

605人

行方
不明者
People Missing

2人

避難者 最大
People Forced to Evacuate

34,173人

停電 最大
Extent of Power Outages

39,900戸

断水 最大
Extent of Water Outages

110,000戸

※死者・負傷者・住家被害は県で取りまとめる「被害状況について」第208報(令和7年6月30日時点)より



県内各地で人的・建物
被害が多数発生



内灘町、かほく市等で
液状化現象による被害が発生



県内各地で道路が崩落し、奥能登への
アクセスルートが遮断

高齢者施設の被害報告等

(厚生労働省情報：1月11日07:45現在)

①高齢者関係施設の被害状況

○石川県内において、28施設に停電（うち11施設は復旧）、139施設に断水あり（うち10施設は復旧）、6施設が建物の被害（うち、1施設においては建物全焼）あり、9施設が他施設に避難中。(1/10)

○新潟県内において20施設に建物被害あり。(1/10)

○富山県内において1施設に停電、13施設に断水あり（うち1施設は復旧）、7施設に建物被害あり、2施設が他施設に避難中。(1/10)

○上記被害があった施設において、人的被害なし。

(厚生労働省情報：令和6年7月30日14:00現在)

①高齢者関係施設の被害状況

○石川県内において、29施設に停電（全施設復旧済）、148施設に断水あり（うち139施設は復旧済）、65施設に建物の被害（うち、1施設においては建物全焼）あり、DMATが関与した二次避難26施設（搬送予定を含む。1月21日18時時点）、その他避難17施設（うち7施設は帰園済）。(7/18)

○新潟県内において65施設に建物被害あり。(3/8)

○富山県内において1施設に停電（復旧済）、13施設に断水あり（全施設復旧済）、50施設に建物被害あり、2施設が他施設に避難。（全施設帰園済）(3/8)

上記被害があった施設において、人的被害なし。

ある高齢者施設の被害状況



利用者を安全なフロアへ移動



水道管が破裂し、フロア水浸し

利用者の搬送

- 石川県七尾市の特別養護老人ホーム「秀楽苑」では、1月9～10日、併設するグループホームを含む入所者87人全員が、災害派遣医療チーム「DMAT」や自衛隊の車両で金沢市や富山県の高齢者施設などに移動
- 秀楽苑などは、余震で建物が崩壊する恐れがあったが、認知症や寝たきりの人、酸素吸入が必要な人らがあり、近くの避難所に身を寄せることはできなかったという

災害時情報共有システム

令和3年度から災害発生時における高齢者施設・事業所の被害状況を国・自治体が迅速に把握・共有し、被災した介護施設等への迅速かつ適切な支援につなげるため、介護サービス情報公表システムに災害時情報共有機能(以下、災害時情報共有システム)が追加された

災害時情報共有システムの概要

災害時情報共有システムは、災害発生時に事業所自らが迅速かつ的確に国・自治体へ被災状況を報告するシステムです。報告はP C、スマートフォンから簡単に報告できます。

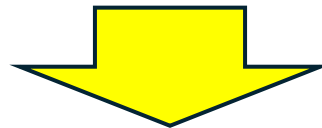
システムの仕組み



地域での被害状況の把握が十分にできず、適切な支援に繋がりにくくなる可能性があります

災害時情報共有システムへの入力

入力必須項目	入力内容
① 人的被害の状況	・人的被害なし ・人的被害あり
② 建物被害の状況	・被害なし ・軽微な被害あり(推定被害80万円未満) ・重大な被害あり(推定被害80万円以上)
③ 避難の必要性	(入所施設) ・避難の必要性なし ・避難の必要性あり
	(入所施設以外) ・支障なし(開所) ・支障あり(閉所中)
④ 電気の状況	・停電なし ・停電中
⑤ 水道の状況	・断水なし ・断水中
⑥ ガスの状況	・供給あり ・停止中
⑦ 冷暖房の状況	・使用可能 ・使用不可



災害時情報共有システムに、“避難の必要性あり”の画面はありますが、避難が必要な方のリストを作成する画面はありません。

避難対象者リストの作成

避難対象者リスト

番号	氏名	フリガナ	性別	年齢	介護度	担送・護送	食事形態	DNAR (心肺蘇生等の希望)	備考 (避難先に伝えておく必要があることなど) ○アレルギーの有無 ○飲み忘れが重大な影響を及ぼす薬の有無 等	搬出時間	移動手段	搬送先
(例)	山梨 太郎	ヤマナシ タロウ	男	85	要介護5	担送	経管栄養		胃ろう造設にて経管栄養食、経口摂取不可			
(例)	吉田 花子	ヨシダ ハナコ	女	86	要介護3	護送	きざみ食		そばアレルギーあり、インスリン注射			
1												
2												
3												
4												
5												

避難が必要となった時、速やかに情報提供できるように利用者の情報をまとめておきましょう

まとめ

○適切な支援を受けるためには、災害時情報共有システムへの速やかな入力が必要

- ①災害時情報共有システムから、メールが確実に届くアドレスを登録しておく
- ②数回／年、開催される災害時情報共有システムに関する訓練参加しましょう(複数の方が練習しましょう)

○避難対象者リストを作成しておきましょう